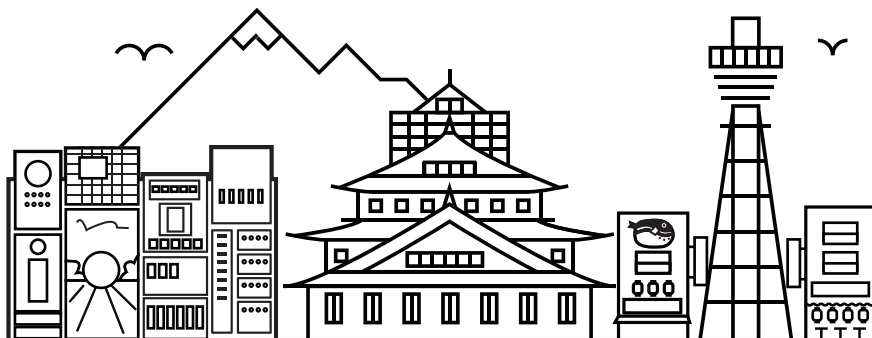


おおさか

3








年 組 番

年 組 番

名前

もくじ

もくじ	2
 情報を活用しよう	
Society5.0 で実現する社会	3
タブレットを上手に活用しよう	5
 カードで学ぼう	
自分と相手とのちがい	7
写真を公開する前に	9
使いすぎていないかな	11
 情報を活用しよう	
メディアの特性を考えよう	13
 ストーリーから学ぼう	
SNS からわかることはノ夜おそくまでのグループトーク	15
 ^{ほごしや} 保護者のみなさまへ	
ケータイ・スマホトラブル分類表	17
家庭のルールを考えよう	18
フィルタリングやアプリの ^{せってい} 設定	21
インターネットにおけるコミュニケーションの特性	22
LINE entry でプログラミングに ^{ちようせん} 挑戦	23

「SNS ノートおおさか」^{あつか}で扱う用語について

スマホ・・・スマートフォン
ケータイ・・・^{けいたいでんわ}携帯電話

アップ・・・アップロード
ネット・・・インターネット

※ この教材は、ネットやスマホ・ケータイとの上手な付き合い方を「自ら考える」ことを目的としています。スマホ・ケータイの購入を^{こうにゆう すいしよう}推奨するものではありません。



情報を
活用しよう

1 Society5.0で実現する社会

Society5.0で私たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。

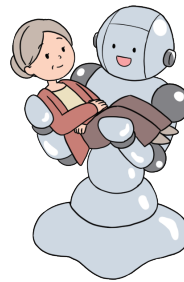
AI（Artificial Intelligence、人工知能）やIoT（Internet of Things、モノのインターネット）、ロボット技術の発達によって、様々なデータを共有し、最適な情報を最適なタイミングで受け取ることができたり、人間に代わってロボットが様々な作業を行ってくれたりすることが期待されています。

Society5.0

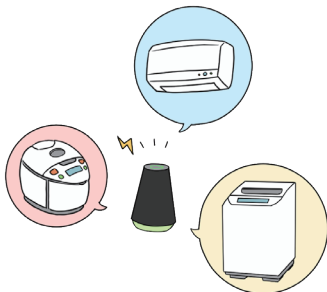
自動運転



介護ロボット 遠隔医療



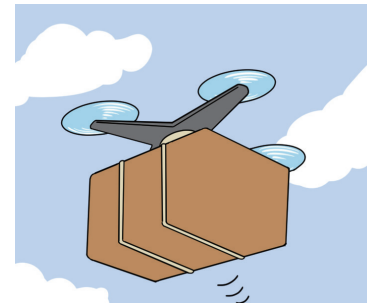
AI家電



スマート農業



ドローン物流



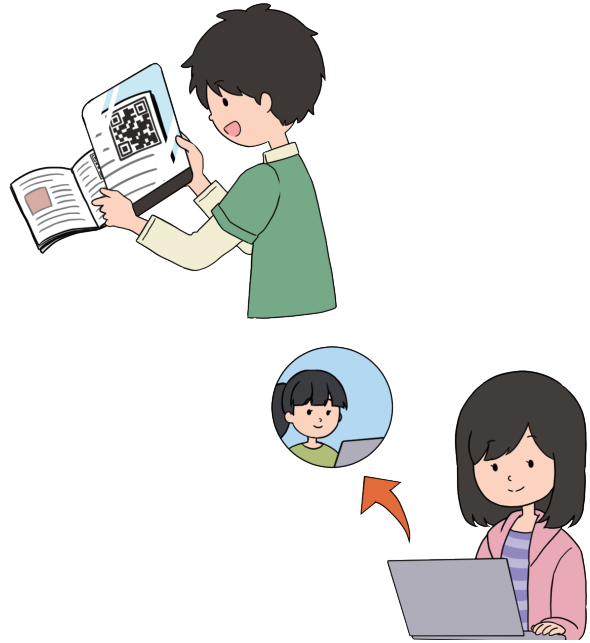
考えてみよう

みなさんが、20歳になる頃、社会はどのように変化していると思いますか？
便利になっているといいなと思うことを話し合ってみましょう。

学びはどうかわるの？

学校の授業では

- ・自分の考えや意見をわかりやすくまとめたり、表現できる
- ・自分の考えをクラスの仲間と共有したり、フィードバックを受けることができる
- ・クラスメイト以外の人たちとのコミュニケーションができる
- ・自分のレベルにあった問題を解くことができる
- ・一生懸命つくった作品を保存して成長をふりかえることができる



家庭では

- ・学校の授業内容について予習・復習したり、さらに調べたりすることができる
- ・学校が臨時休校になったりしたときに、学びつづけることができる。



今後、みなさんにつけてほしい力

- 情報を取捨選択し、判断する力
- 他者のことを想像しながら、発信する力
- 問題解決のために情報を活用していく力

トラブルにあわず、上手に活用するために、このノートで学んでいきましょう。



情報を
活用しよう

2 タブレットを上手に活用しよう

上手に使うためのルールやマナーを考えましょう

1 どんなトラブルが考えられるでしょうか

① 友達にテキストで意見を伝えるとき

② 写真や動画を使って制作するとき

③ オンライン（遠隔）で学習をするとき

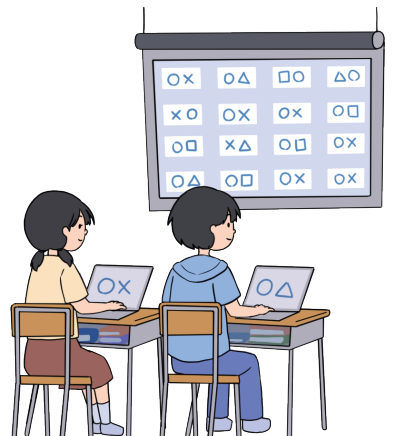
④ 家に持ち帰ったとき

2 どんなルールやマナーが必要でしょうか

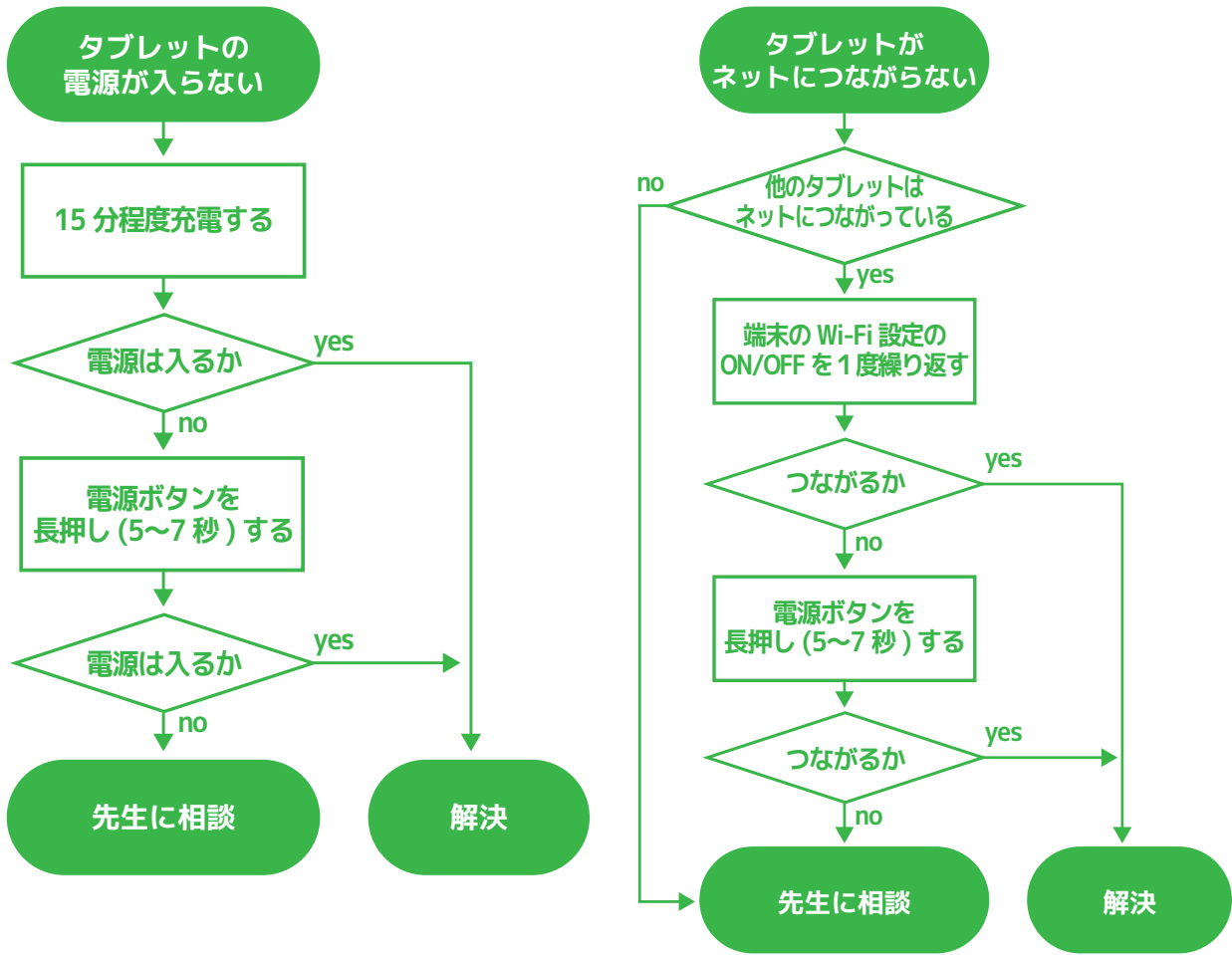
① 学習にタブレットを使うとき

② オンライン（遠隔）で学習をするとき

③ 家に持ち帰って学習するとき



! こんな時、 どうする？



考えよう 「情報モラル」

ID とパスワード

みなさんが使用しているID（アイディー）とパスワードは、とても大切なものです。他の人に教えることをせず、きちんと管理しましょう。もし、勝手に他者のIDとパスワードを使うと、「不正アクセス禁止法」に違反することになります。

また、パスワードをつくるときは、自分の誕生日など、他者から推測されやすいものではなく、数字、英語の大文字や小文字、記号（?、!などを取り入れたものにするとういでしょう。





カードで
学ぼう

① 自分と相手とのちがい

- 1 あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

1 まじめだね	2 おとなしいね	3 いっしょう けんめいだね	4 こせいでき 個性的だね	5 マイペースだね
------------	-------------	----------------------	---------------------	--------------

- 2 いやだなと感じた理由を書きましょう。

- 3 ほかに人に意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。



カードで
学ぼう

① 自分と相手とのちがい

- 1 あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。

1 すぐに返信が 来ない	2 なかなか会話が 終わらない	3 知らないところで 自分の話題が 出ている	4 話をしているときに ケータイ・スマホ をさわっている	5 自分がいっしょ と一緒に 写っている写真 を公開される
--------------------	-----------------------	---------------------------------	---------------------------------------	---

- 2 一番いやだと感じるカードを
A 選んだ理由を書きましょう。

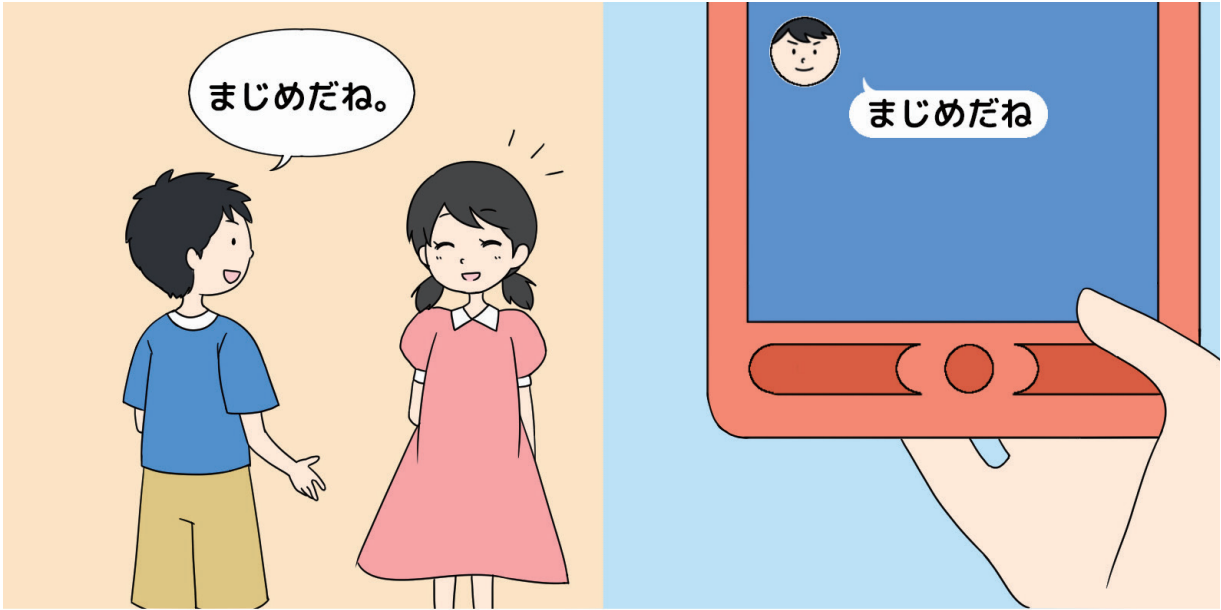
- 2 一番いやではないと感じるカードを
B 選んだ理由を書きましょう。

! ネットの^{とくせい}特性

私たちは相手の感情を言葉以外のどんなところから読み取っているでしょうか。

.....

.....



 学んだこと

 家庭から

 学校から



カードで
学ぼう

2 写真を公開する前に

- 1 あなたなら、どの写真をネットに公開したいと思いますか。
公開しても問題がないと思う順に上から並べてみましょう。



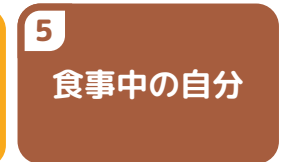
- 2 どのようなことに気が付きましたか。



カードで
学ぼう

2 写真を公開する前に

- 1 あなたが、ネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真を
一つ選んでみましょう。



- 2 ネットで公開するには、それぞれどのようなことに気を付ければよいでしょうか。

ネットの特性

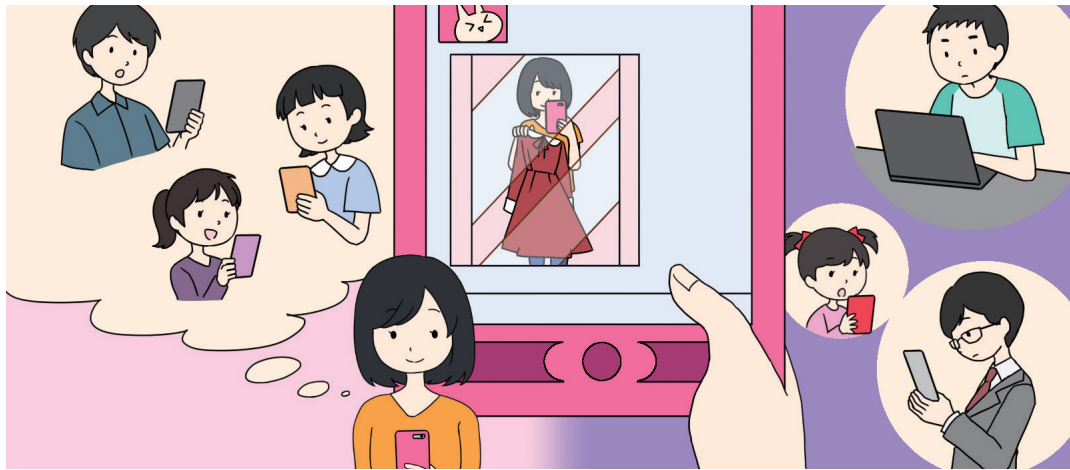
「不適切な写真をアップしない」ことは、全員が理解しているはずなのに、どうして「炎上」が起きるのでしょうか。

考えられるのは、「知っている人しか見ないだろう。」という公開範囲の認識の甘さです。また、「不適切な写真」の認識のずれも考えられます。

自分は「不適切ではない写真」だと思っても、友達や社会の人が見たら「不適切な写真」になることもあります。

特に、自宅で撮った写真などをアップするときは、自宅の住所などの情報も一緒にアップされる場合があるので注意が必要です。

また、一度公開した情報を消すことは難しいことを覚えておきましょう。



学んだこと

家庭から

学校から



カードで
学ぼう

3 使いすぎていないかな

- 1 平日、 ネットを何時間使っていたら「使いすぎ」 だと思いますか。
一つ選んで友達とくらべてみましょう。

1 1時間 2 2時間 3 3時間 4 4時間 5 5時間

- 2 どんなことに気が付きましたか。



カードで
学ぼう

3 使いすぎていないかな

- 1 「この人、 ネットを使いすぎだなあ」 という順にカードを並べてみましょう。

1 夜おそくに
メッセージを送ってくる

2 すぐに
メッセージが返ってくる

3 友達と話しているときに
スマホをさわっている

4 アプリで毎月
お金を使っている

5 いつもネットや
ゲームの話ばかりする

- 2 並べたカードの順番がちがう人同士では、 どのようなトラブルが起きる可能性が
あると思いますか。



使いすぎないためには

1

ネットやゲームを使いすぎないために、自分が守れるルールを考えてみましょう。

.....
.....

2

1週間チャレンジしてみましょう。

自分で決めたルールを守れたかどうか、^{きろく}記録をつけましょう。

日付							
結果							

3

ルールが守れないのは、どのようなときでしょうか。

.....
.....

学んだこと

家庭から

学校から

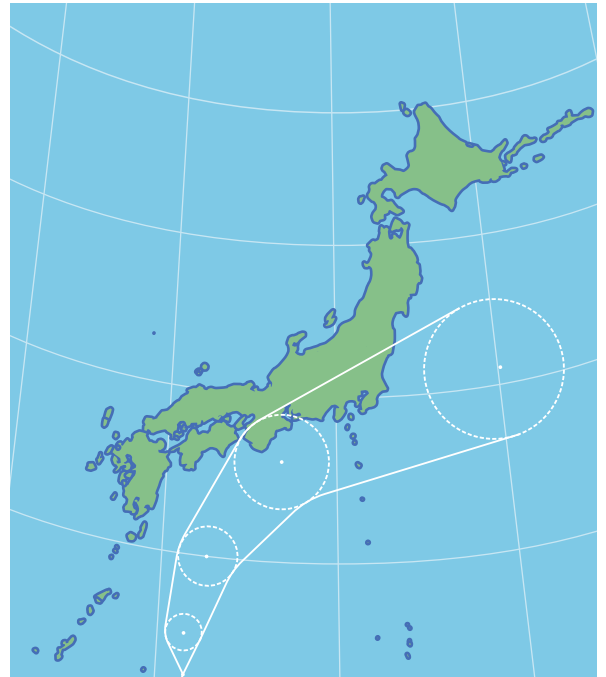


情報を
活用しよう

3 メディアの特性を考えよう

1 あなたの地区を台風が通過しました。

あなたの地区では洪水の被害はなかったのですが、近くの町で被害がないか心配になりました。あなたはどのように情報を収集しますか。



2 次のカードを、

- ・ 今、どこに台風がいるかを知りたいとき
 - ・ 自分の住んでいる場所の近くの状況を知りたいとき
 - ・ 被害の大きさを知りたいとき
 - ・ 過去の台風の情報を知りたいとき
- に並べてみましょう。

1

テレビ

2

本

3

SNS

3 どのようなことが分かりましたか。

同じところ

ちがうところ

! メディアの特性

本やテレビ、SNS など、情報を伝達するものを「メディア」と呼びます。これらのメディアには、それぞれ特性があります。例えば、テレビは映像を通して情報を伝達し、本は文字、SNS は主に文字や画像を通して情報を伝達します。テレビはテレビ局の人が取材しないと映像を送ることはできませんが、

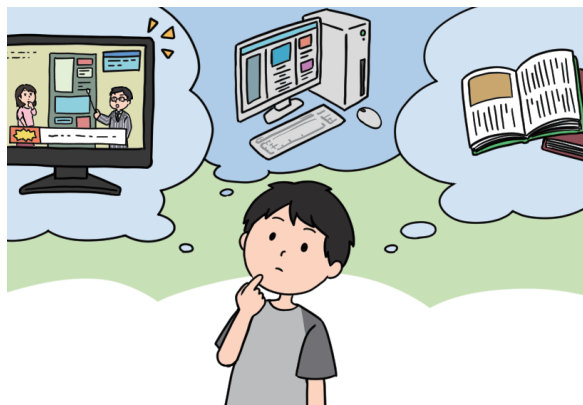
SNS は一般の人でも文字や画像を送ることができます。このため、情報の「速さ」では、SNSの方がテレビや本などよりも速い場合も多くあります。

情報を収集するときは、こうしたメディアの特性を意識するとよいでしょう。

情報の「速さ」と「正確さ」の関係

SNS は、テレビや本よりも情報をはやく知ることができるがありますが、「正確さ」ではどうでしょうか。SNS は不特定多数の人が情報を発信しているため、かならずしも正確であるとは限りません。情報の「速さ」だけでなく、「正確さ」も情報収集では大切なポイントです。

考えよう「情報モラル」



✎ 学んだこと

🏠 家庭から

🏫 学校から



ストーリー
から学ぼう

1 SNSからわかることは

最近、あかねさんの家のとなりにコンビニができたので、塾^{じゅく}の帰りに行ってみることにしました。

「家のとなりにコンビニができた。塾^{じゅく}の帰りに行けるから便利。」

このメッセージを、コンビニで買った飲み物の写真^{いっしょ}と一緒に、SNS にアップしたところ、友達からたくさんコメントがありました。



1 このメッセージや写真から、分かることは何でしょうか。

2 このようなことを見かけたら、あなたはどのようにアドバイスをしますか。



ストーリー
から学ぼう

2 夜おそくまでのグループトーク

これは、クラスの友達4人のグループトークです。

あなたは、そろそろねようと思っているので、グループトークを終わりにしたいと考えていますが、なかなか終わりそうにありません。

1 こんなとき、あなたは、どのように返信しますか。



2 クラスメイトの意見を聞いて、「上手だな」と思う返信や対応を書いてみましょう。

3 「楽しいコミュニケーション」をしていくために、これから気を付けることはどのようなことでしょうか。



現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用



ゲームや動画、コミュニケーションにかかわる時間を使いすぎたり、「ながらスマホ」をする。

主に **A**

2 高額課金



たくさんのお金を使って、ゲームのアイテムなどを購入してしまう。

主に **A**

3 不適切サイトの閲覧



性的描写や暴力表現など青少年にふさわしくないサイトを閲覧する。

主に **B**

4 出会い



SNS で知らない人から会うことを求められたり、自分の画像を送ることを求められる。

主に **A** と **B**

5 著作権の侵害



無許可の映像や音楽のアップロードや、違法と知りながらの音楽や映像をダウンロードする。

主に **A** と **C**

6 不適切情報の発信



悪ふざけの写真やデマなどをSNSで発信する。

主に **C**

7 個人情報の投稿



SNS へのテキストや写真などの投稿から、個人を特定できる情報を流出させる。

主に **C**

8 悪口・いじり



グループトークでいじりや無視をしたり、短文の意味の取り違いによって誤解してしまう。

主に **C**

① 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けながら話し合ってみましょう。

② トラブルに巻き込まれないための対策を考えてみましょう。大きく3つの対策が重要です。

- A** 家庭のルールを考えよう P18-20へ
- B** フィルタリングやアプリの設定 P21へ
- C** インターネットにおけるコミュニケーションの特性 P22へ



例えば東京都には「SNS東京ルール」があります。また、東京都の条例では、右記のことが保護者の責務として記されています。これらを参考に、家庭のルールを子供と話し合ってみましょう。

- フィルタリングサービス等を利用する。
 - 利用状況を適切に把握する。
 - インターネット利用の危険性について、必要な知識の習得に努める。
 - 利用ルールを定めるなど、適切な利用に努める。
- 「東京都青少年の健全な育成に関する条例」より

主体的に考えることを目指した「ルールの工夫」

次のルールは何が問題でしょうか。

ネットの「使いすぎ」に気をつけよう

スマホは「夜遅い時間」には使わない

ネットで「たくさんお金」を使わない

「 」の中の表現にあいまいさがあるため、親と子供とで基準が異なる場合があります。ルールを決めるときは、あいまいな表現をさけましょう。

「スマホは夜10時までしか使わない」というルールを破ってしまう子供がいたら、どのように声をかけますか。

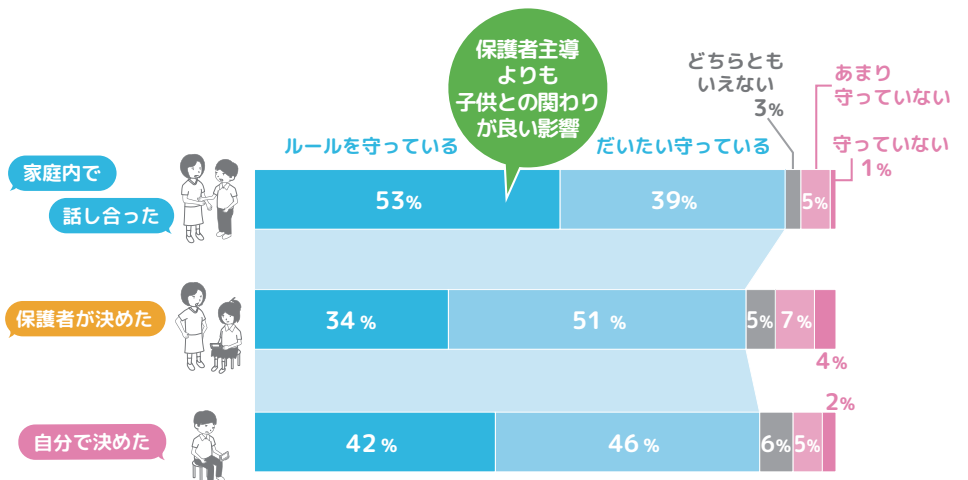
A ルールを破ったことを叱る

B どのようにしたらルールを守れるかを一緒に考える

A のような「制限」によるコントロールから、**B** のように子供と一緒に対話をしながら「主体的なルールづくり」をするようにしましょう。

ルールの決め方と遵守の関係

高校生を対象とした調査によると、保護者主導でルールを作ったときより、子供と一緒にルールを作ったときのほうが、子供がルールを守る確率が高いことが分かっています。



「使い過ぎ」に関するルールを考えましょう

家庭のルールでは、ネットやゲームの「使い過ぎ」を防ぐものが多く見られますが、子供と保護者との間で「使い過ぎ」の解釈がずれている場合が心配されます。

子供は、「自分はネットやゲームを使い過ぎていない」と考える傾向があるため、結果として、「ルールがあっても守られない」状態になりがちです。

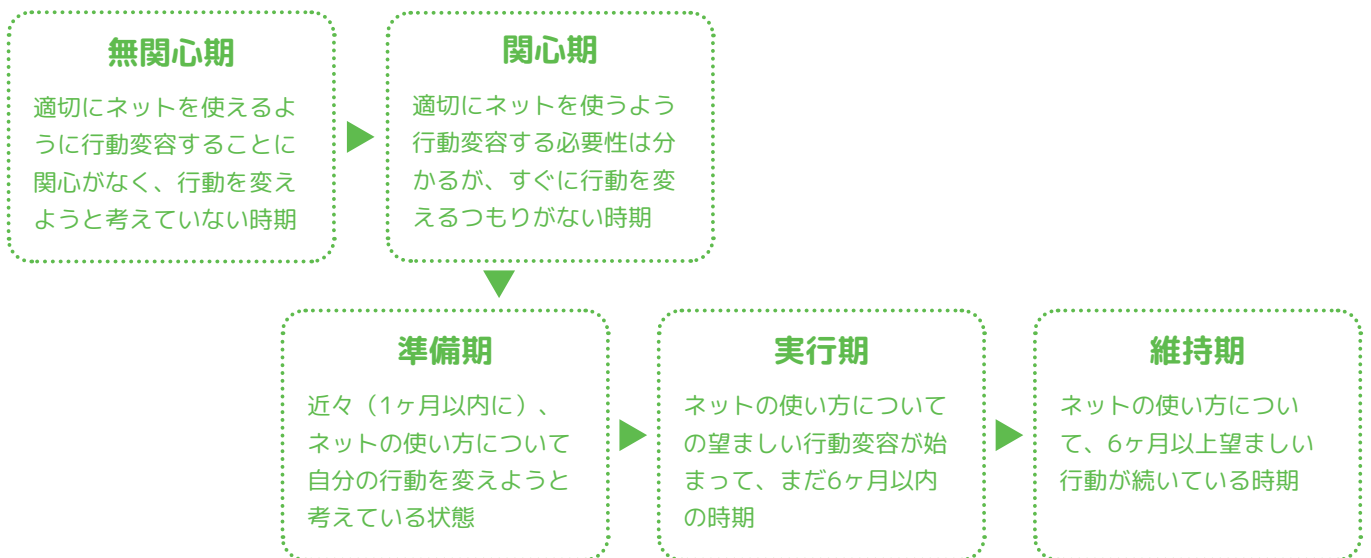
そこで、子供がネットの「使い過ぎ」にならないために、どのようなことに気を付けてルールを決めればよいのでしょうか。

行動変容を促すためには

問題行動を変容させるためには、自分がどのような状態にあるかを自覚させ、それに応じた指導・支援を行うことが重要とされています。これを、子供のインターネット依存傾向の予防・改善に当てはめてみましょう。

インターネットの使い過ぎから抜け出すためには、5つの時期があると言われています。はじめに、「無関心期」にある子供は、「ネットを使い過ぎていない」、「インターネット依存傾向に陥ることはない」と考えている状態です。「関心期」については、「ネットを長い時間使っている」、「ネットを使うことで、夜寝る時間が遅くなっている」など、ネットを使い過ぎていることは認識しているものの、その危険性や悪影響について重大なことと捉えておらず、すぐに行動を改善しようとは考えていない状態です。（詳しくは下図参照）

インターネット依存傾向から抜け出す段階



1日のうちにどのくらいネットを利用しているか、子供に具体的に書き出させるなどして、「長時間使い過ぎていること」、「他者よりも長く使っていること」を本人に自覚させることが、インターネット依存傾向の予防・改善のための行動変容のきっかけとして重要です。

インターネットの使用時間を書き出してみましょう

例

12/1	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
月	睡眠	朝食	登校				学校					下校	ゲーム	勉強	夕食	風呂	ネット	睡眠	

平日

/	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
---	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

休日

/	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
---	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

インターネットを使い過ぎていないか、子供と確認してみましょう

インターネット依存傾向を調べるために作成された質問票を利用することも1つの方法です。この質問票では、8項目の質問のうち5項目以上に当てはまれば「病的ユーザー」と判定されます。平成30年8月に公表された厚生労働省研究班の報告書によると、この質問票を利用したところ、「病的ユーザー」の割合は、中学生が12.4%、高校生が16.0%で、両校種とも女子の割合が高い結果が見られたということです。

- ① インターネットを利用し、SNSやゲーム、ショッピングなどをするのを思い出したり、次の利用が楽しみになるなど、インターネットに夢中になっている。
- ② 満足するには、インターネットの利用時間をどんどん長くしていかなければならない。
- ③ 利用時間を減らしたり、やめようとしたりしても、うまくいかないことが繰り返される。
- ④ インターネットの利用時間を減らそうとすると、落ち着かなくなったり、不機嫌になったり、落ち込んだり、いろいろしたりする。
- ⑤ インターネットを利用した活動の時間が、利用する前に予定していた時間より長くなる。
- ⑥ インターネットの利用のせいで、大切な人との関係を危うくしたり、勉強の機会を失ったりする。
- ⑦ インターネットに夢中になりすぎたせいで困ったことが起きても、ごまかすためにうそをつく。
- ⑧ 困っていることや不快なことから逃れるためにインターネットを使う。

インターネット依存傾向の治療法

医師から、インターネット依存傾向と診断された場合、現時点では治療薬は存在しません。主に次のようなカウンセリング及び行動療法が施されています。

- ① インターネットから離れた環境で一定の時間を過ごす
- ② 運動療法や作業療法に取り組みながら、身体を動かす爽快感を感じる
- ③ 他者とのコミュニケーションスキルを磨く



保護者の
みなさまへ

フィルタリングやアプリの設定

フィルタリングについて

犯罪・トラブルに巻き込まれないため、フィルタリングを設定することが大切です。

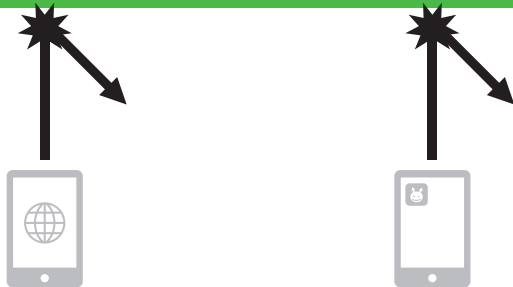
WEB サイトにアクセス させない機能

子供が見ることがふさわしくない情報にアクセスさせない。

使用を認めていないアプリ を起動させない機能

子供がインストールしたアプリを許可無く使用させない。

フィルタリング



平成29年2月に、携帯電話事業者が提供するスマートフォン等のフィルタリングサービスのアプリアイコンが、統一されました。

Android			iOS		
WEB	無線LAN	アプリ	WEB	無線LAN	アプリ
<p>あんしんフィルター for (キャリア名、ブランド名)</p>					iOS 機能制限



携帯電話会社の販売店に行き、最適なフィルタリングを設定してもらったり、相談したりしましょう。

子供のスマホの
フィルタリング、
ちゃんと設定できて
いるか不安





8 悪口・いじり



相手の
「イヤなこと」を
しないようにしましょう

というルールや指導で
大丈夫？

「イヤなこと」の感覚が人によってズレやすく、ネットの特性によって、ズレがより大きくなります。

3つの視点からその内容を見てみましょう。



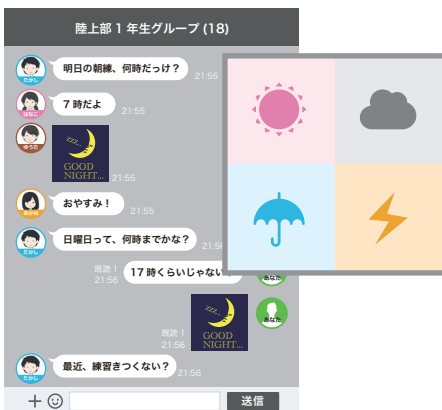
1 感覚のズレ

人によって「イヤだな」と感じる言葉には違いがあります。自分にとってイヤな言葉が、友達のイヤな言葉と同じとは限りません。

2 ネットの特性



普段、「まじめだね」という言葉を解釈するときには、顔の表情やシチュエーション、トーンなどから、それが良い言葉なのか悪い言葉なのかを判断しています。しかし、メール等のテキストコミュニケーションの場合には、感情が伝わりにくく、それが良い言葉なのか悪い言葉なのかを判断するのが難しく、誤解が生じやすくなります。



3 「リスクの見積り」によるズレ

子供たちは、「何が危険か」は分かっているのですが、「どのくらい危険か」というリスクの見積りがズレやすく、「このくらいは大丈夫だろう」と思うことにより、トラブルにつながってしまうことがよくあります。

情報モラル = 日常モラル × ネットの特性 × 想像力・判断力



おうちで
挑戦しよう

LINE entryでプログラミングに挑戦

「LINE entry」は遊び感覚で楽しみながらプログラミングを学習することができる、プログラミング学習プラットフォームです。

4つの基本機能「学習する」「作る」「共有する」「マイページ」はすべて無料で利用可能です。

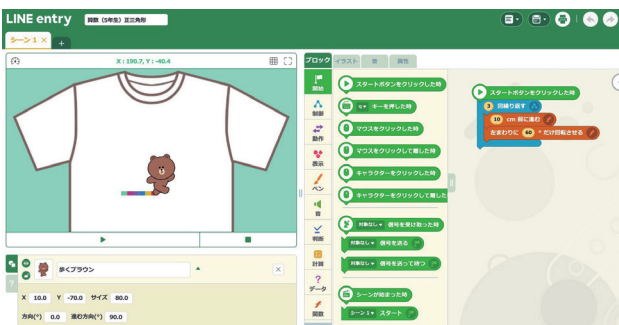


学習する



「学習する」では、LINEオリジナルの公式教材を無料でダウンロードできます。学校や家庭で子どもにプログラミングを教える際に役立てることも可能です。

作る



「作る」では、子どもたちが直感的に操作できるビジュアル型のプログラミング言語を使って、ブロックを組み合わせながらコーディングし、実行することができます。LINEのキャラクターを自由自在に動かしたり、オリジナルのゲームを作って遊んだりするような、自分だけの作品を作ることができます。

1



まじめだね

自分と相手とのちがい ①



1

1-Bサイコー!



2



おとなしいね

自分と相手とのちがい ①



2

バスケ楽しかった(^^)/



3



いっしょう
けんめいだね

自分と相手とのちがい ①



3

ミナの家で勉強中ww



4



こ せい てき
個性的だね

自分と相手とのちがい ①



4

いつものお店!なう(^^)



5



マイペースだね

自分と相手とのちがい ①



5

たかしといっしょ♡



<p>1</p> <p>自分のねがお</p> <p>写真</p>	<p>1</p> <p>すぐに返信が 来ない</p> <p>自分と相手とのちがい ②</p>
<p>2</p> <p>自分の変顔</p> <p>写真</p>	<p>2</p> <p>なかなか会話が 終わらない</p> <p>自分と相手とのちがい ②</p>
<p>3</p> <p>自分の部屋</p> <p>写真</p>	<p>3</p> <p>知らないところで 自分の話題が 出ている</p> <p>自分と相手とのちがい ②</p>
<p>4</p> <p>たまたま 写り込んだ自分</p> <p>写真</p>	<p>4</p> <p>話をしている時に ケータイ・スマホ をさわっている</p> <p>自分と相手とのちがい ②</p>
<p>5</p> <p>自分の食事中</p> <p>写真</p>	<p>5</p> <p>自分が^{いっしょ}一緒に 写っている写真 を公開される</p> <p>自分と相手とのちがい ②</p>

<p>1</p> <p>1 時間</p> <p>SNS ノート</p> <p>使いすぎていないかな ①</p>	<p>1</p> <p>テレビ</p> <p>SNS ノート</p> <p>メディアの特性を考えよう</p>
<p>2</p> <p>2 時間</p> <p>SNS ノート</p> <p>使いすぎていないかな ①</p>	<p>2</p> <p>本</p> <p>SNS ノート</p> <p>メディアの特性を考えよう</p>
<p>3</p> <p>3 時間</p> <p>SNS ノート</p> <p>使いすぎていないかな ①</p>	<p>3</p> <p>SNS</p> <p>SNS ノート</p> <p>メディアの特性を考えよう</p>
<p>4</p> <p>4 時間</p> <p>SNS ノート</p> <p>使いすぎていないかな ①</p>	
<p>5</p> <p>5 時間</p> <p>SNS ノート</p> <p>使いすぎていないかな ①</p>	

	<p>1</p> <p>夜おそくに メッセージを送ってくる</p> <p>使いすぎではないかな ②</p> 
	<p>2</p> <p>すぐに メッセージが返ってくる</p> <p>使いすぎではないかな ②</p> 
	<p>3</p> <p>友達と話しているときに スマホをさわっている</p> <p>使いすぎではないかな ②</p> 
	<p>4</p> <p>アプリで毎月 お金を使っている</p> <p>使いすぎではないかな ②</p> 
	<p>5</p> <p>いつもネットや ゲームの話ばかりする</p> <p>使いすぎではないかな ②</p> 



SNSノートおおさか（3）小学校5、6年生向け

制 作 「SNSノートおおさか」作成委員会
LINE株式会社
静岡大学教育学部准教授 塩田真吾
アラサキデザインスタジオ

「SNSノートおおさか」作成委員会

委員長	美濃 亮	松原市教育委員会教育長
副委員長	古川 聖登	泉南市教育委員会教育長
副委員長	太田 知啓	守口市教育委員会教育長
	岡林 美紀	松原市教育委員会学校教育部次長
	矢野 智史	松原市教育委員会教育研修センター長
	廣野 慎一郎	松原市教育委員会教育研修センター主幹
	岩崎 誠	泉南市教育委員会指導課長
	奥田 好幸	泉南市教育委員会人権国際教育課長
	中村 文俊	守口市教育委員会教育センター長
	間宮 大輔	守口市教育委員会教育センター主任

（敬称略）

※職名は令和2年12月現在

- ・本教材の著作権は、LINE株式会社が保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。これ以外での2次利用はおやめください。